

令和7年度12月補正予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
G I G Aスクール運営支援センター事業費	学校教育課

[単位:千円]

限度額	期間	財源内訳				
		国	県	起債	その他	一般財源
16,473	令和7年度～8年度					16,473

【事業の目的】

1人1台端末による本格的な教育活動が展開される中、その円滑な運用を支え、子どもの学びを保障するための「運用面の支援」の強化が求められていることを踏まえ、児童生徒の情報活用能力や教職員のICT活用指導力向上を充実させ、より安定的な支援基盤の構築を目的に、本市では令和4年度からG I G Aスクール運営支援センターを委託運営してきた。

ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び（集合知の活用）」などの教育目標を掲げ、Society5.0時代を見据えた取組を進めており、学校及び教職員のICT端末利活用水準の引上げ及び発展活用に向けて、専門的かつ迅速な対応を行うために、プロポーザルにより業者選定を行うものである。

【事業の内容】

ICT環境の整備と運用に関する支援を教育委員会及び学校に対し行うため次の業務を行う。

- ・ヘルプデスク（各種相談の総合受付及びコールセンター）の設置及び運営業務
- ・校内ネットワーク環境に関する運用及び保守
- ・端末に関する運用及び保守
- ・各種アプリケーションに関する操作助言
- ・チャット機能等を活用した技術的支援
- ・その他ICT機器に関する運用及び保守業務など

【これまでの関連する取組】

- ・令和4年度鳥取市G I G Aスクール運営支援センター運用業務契約締結（プロポーザル）
- ・令和5年度鳥取市G I G Aスクール運営支援センター運用業務契約締結（随意契約）
- ・令和6年度鳥取市G I G Aスクール運営支援センター運用業務契約締結（プロポーザル）

【今後の取組】

12月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、下記のとおり。

令和8年2月 プロポーザル公告
3月 業者選定
4月 運用開始